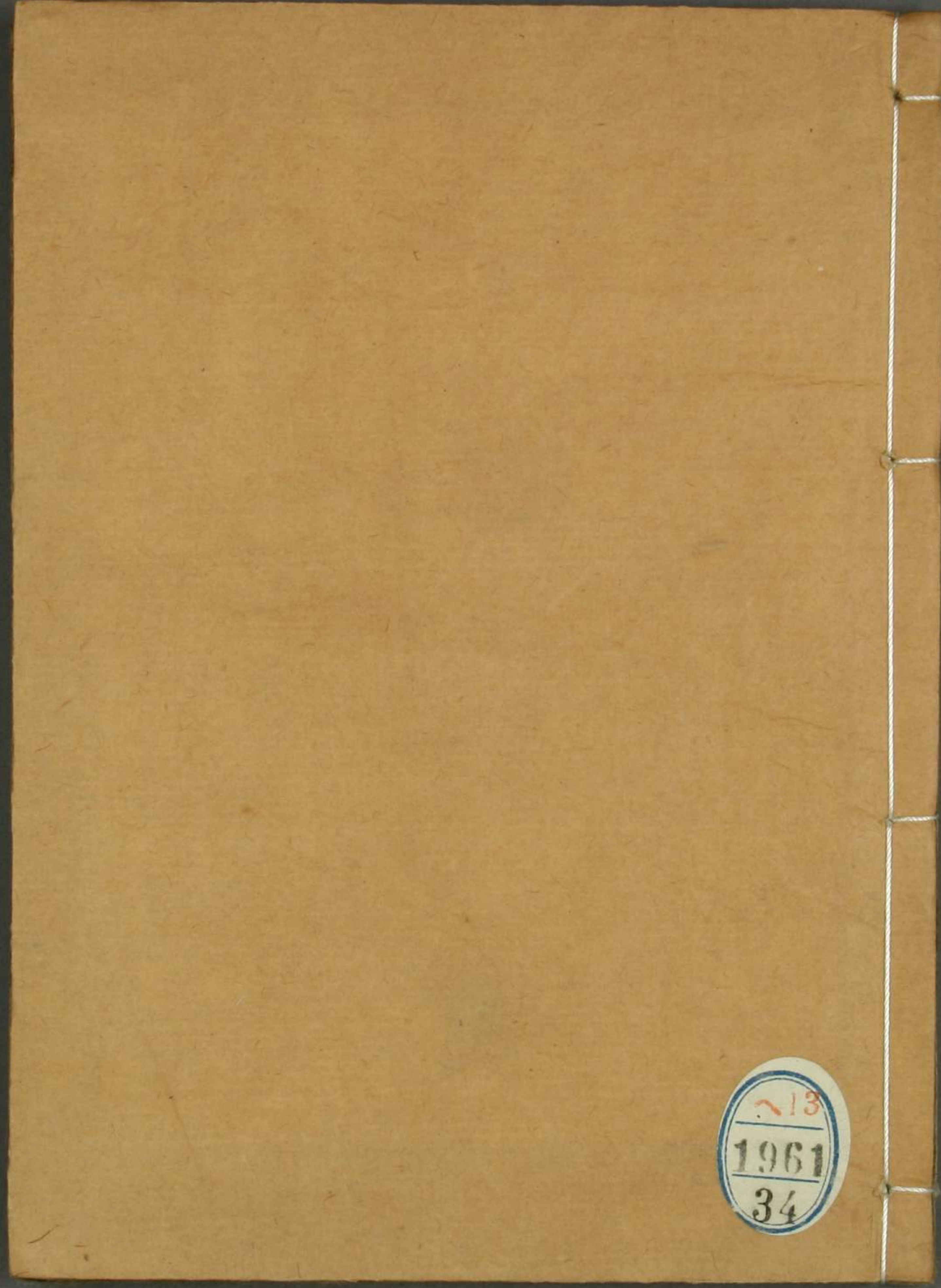




13
1961
34

黄氏万林

地獄
一面照子淨願利木
清桃太郎發端話説

京傳

遠
2156
724

1961
34

定
漢



九
三
七

12

[illegible]

小野 篁 傳

篁 岑 守 長 男。 補 參 議 故

曰 野 相 公 事 父 母 至 孝。

身 長 六 尺 二 寸 博 識 能

書。 輒 往 還 冥 府。 ハ雲抄 破

軍 星 代 身 矣。 事 迹 詳 文 德 實 錄



いさふく
まのこゝろ
ちがひて
うらやま
けーま
それか
あんで
なまき
あつたひ
いきでめ
いふ



いふくはふの
つちまど
ひまふ

[illegible]

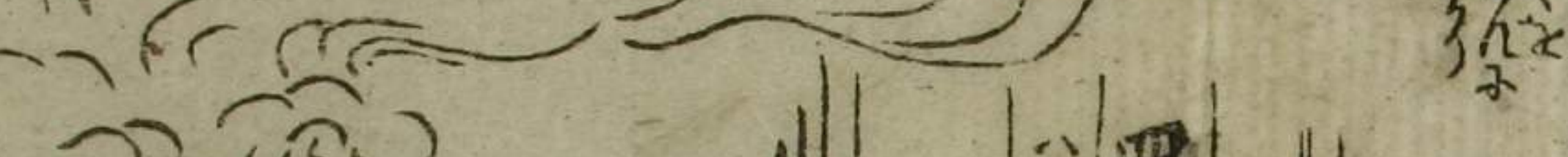
7
 4
 5
 6
 1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100

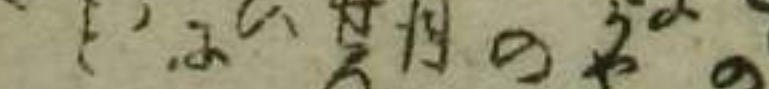
[illegible]

たふし
たふし
たふし
たふし
たふし



そのうちあつても
とほまゐるくそ
うりぞりせんふ
すもものさうろ
ありけい
黒々ともみ
ぢぢぢ
おち
りのかき
らーらー
のこ
にんぎょ
しらべ
くらや
大き
をんと
どうは
るめ
あら丁の
すて
あんまふ
ていのわ
い
出
云々日
おひ
わろ
り
むし
はんの
やう




 二日月
 ぬきん
 のふの
 うたう
 ちゅう
 らい
 ねえ
 うたう
 うたう
 のて
 まを
 西人
 さん
 いせい
 のんて
 いせい

いづれに
いづれに
いづれに
いづれに

[illegible]

かくれりてこの弓ハ
 こゝろにうちどくまじ
 けしむるあきうら
 ぬけさす



つゝとれをうしよじんをてなげてゐく
かれはすゐをぞいゝまゝこまゝくゝてゐる
のこゝろいゝまゝかじてゐるゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ



今までのことん
のしきつていふ
ざいもねえぞ
すまぬんぞ

[illegible]







左大弁

從三位朝臣從三位朝臣冀六

五

事

五ノ上ノ

地獄の

五

一

五

生

一
着のあそ

丁巳

今より



かき
まへ
の
う
り
い

是なり

已巳巳巳

土に物は入らね

卯

中

٧

つ
ふで
は
ち
ち

改演画

京傳醉中作

醉中

七落つむぬ跋

京傳自誌



或問侍如ど無益の妄作を成耶余曰夫弥陀を
念く佛を成と欲者あり軟弱を捨く地獄に
通し思者有り悉皆一箇の癖あり余嘗戲作を
成も一癖あるま蓋虚証以て實を傳へ幼童に
誣され罪大なりと雖速り善を善と
悪を悪と故に閻羅千斤を以て舌を抜といふ
共是を恐む問者ハハ唯唯と云て退



